

常盤小学校

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】
 ○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」
 教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】
 ○基礎的・基本的な学力の定着
 ○主体的に、他者とともに学びを深める力の育成

【現状と課題】
 ○視点1 自分の考えや思いはもっているものの、相手にうまく伝えることに苦手意識をもっている児童が少なからずいる。
 ○視点2 出された課題には取り組むが、受動的でありお互いに高まり合う意欲が弱い。そのため、思いやりをもって関わり合い、互いの違いを認め合う学級経営に取り組んでいる。
 ○視点3 総合学力調査を行っているが、全教職員の共通理解のもと、児童の学力の実態をとらえその向上に向けた取組を行っているとは言い難い。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○対話的な学びを軸に授業を仕組み、子ども同士の学び合いを高める。 ○単元構想シートを作成することにより、「指導と評価の一体化」への意識をもたせる。 ○個に応じた少人数による指導や複数教員による指導、ICT機器の積極的な活用を行い、基礎的・基本的な学力の定着を図る。	【取組事項】 ○生徒指導の3機能を生かし、すべての子どもが認められているという実感がもてるように、「褒め、支える」教職員の意識を高くもつようにする。	【取組事項】 ○総合学力調査の結果から見えた課題を全教職員で共通理解するとともに、その解決に向けた取組を考え、計画的に実施する。 ○チャレンジ15(下校前学習)を計画的に実施し、学んだことの習熟を図る。

その他 取組事項
 常盤っ子 5か条 「人を大切にする」「ものを大切にする」「安全に気をつける」「時間を守る」「進んであいさつをする」(ひ・も・あ・じ・す)の励行

取組の評価				
※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。				
	取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
全体		保護者アンケートにおける「現在わが子は、学校に行くのを楽しみにしている」の肯定率：90%以上		
視点1	・対話的な学びによる子ども同士の学び合いの向上	児童アンケートにおける「友だちや先生は私の考えや発表を聞いてくれる」の肯定率：95%以上 児童アンケートにおける「自分の考えを相手に上手く伝えることができる」の肯定率：80%以上	B	
視点2	・教職員の「褒める・認める」の意識の恒常化 ・生徒指導の3機能を生かした学級経営	児童アンケートにおける「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定率：95%以上	A	
視点3	・総合学力調査後の子に応じた習熟 ・チャレンジ15における基礎的な学力の定着の取組	教職員評価「個に応じた指導により、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れている」の平均：3.7以上	A	
その他				

評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

今年度の学力学習状況調査結果を受けて、今後本校が取り組むこと

今回の学力調査から見てきた本校の課題について、各学年とも週に一度、チャレンジ15(下校前学習)で国語科もしくは算数科の学習に取り組む。
【課題】 国語科：言葉の特徴や使い方に関する事項 算数科：データの活用

今年度の取組の課題
